

第154回日本医学放射線学会 北日本地方会
第99回日本核医学会 北日本地方会

キオクシア アイーナ
(いわて県民情報交流センター)

2026年6月27日(土)

当番世話人

岩手医科大学 放射線医学講座 主任教授

田中 良一

日 程 表

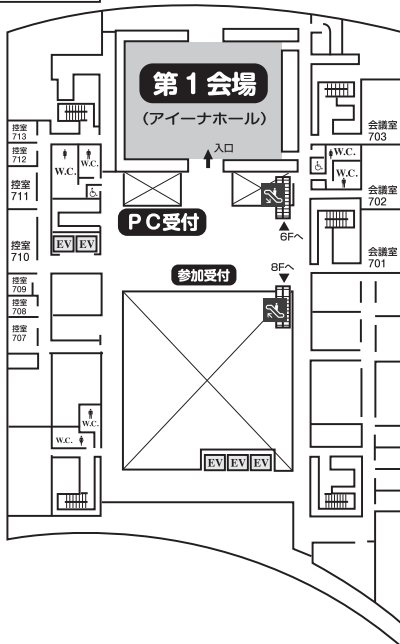
時間/会場	第 1 会場	第 2 会場
	7F アイーナホール	8F 会議室803
9:00	8:30～ 受付開始	
	8:55～ 開会の挨拶	
	9:00～9:45 一般演題 診断1 頭頸部	9:00～9:54 一般演題 治療
10:00		
	10:00～10:54 一般演題 診断2 腹部・骨盤・IVR・その他	10:05～10:41 デビュー3 治療
11:00		10:50～10:59 デビュー4 核医学
	11:05～11:41 デビュー1 診断1	11:00～11:45 一般演題 核医学
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社	
13:00		
		世話人会 13:10～13:40 日医放 13:40～14:10 核医学
14:00		
	14:20～15:05 デビュー2 診断2	14:20～16:45
15:00		
	15:20～16:20 イブニングセミナー 共催：ノバルティスファーマ株式会社	第13回北日本臨床研修医と 医学生のための放射線医学セミナー 主催：日本医学放射線学会北日本地方会
16:00	16:20～ 閉会の挨拶	

会場案内図



キオクシア アイーナ
(いわて県民情報交流センター)
〒020-0045
岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1
TEL : 019-606-1717

7F



8F



ご 案 内

- 1) 会場の開館ならびに参加受付は6月27日(土)午前8時30分からとなります。
総合受付はキオクシア アイーナ7階「アイーナホール前」にあります。
- 2) 今大会では指導者講習会、領域講習会は開催いたしません。
- 3) 参加費は5,000円になります。参加費のお支払い、参加登録に関しては下記URLより事前に登録ならびにオンライン決済が必要になります。

URL : https://app.payvent.net/embedded_forms/show/69ddd42c68ada6e44ca563f4



- 4) 日本医学放射線学会北日本地方会および日本核医学会北日本地方会のいずれも年会費徴収はございません。
- 5) 今大会では懇親会はございません。
- 6) 一般演題、デビューセッションともに発表時間は口演6分、討論3分です。デビューセッションでは、最初に簡単な自己紹介を加えてください。
- 7) 発表はすべてPCプレゼンテーションで行っていただきます。
詳細は次ページの「PCプレゼンテーション要領」をご参照ください。
- 8) 発表者は抄録の提出をお願いいたします。演題名・所属・発表者・抄録(400字以内)の順で記載し、6月27日(土)までに下記のアドレスへWordファイルにてお送りください。
congress@yamada-planning.co.jp (演題応募のアドレスと同様)
当日に学会会場でUSBメモリ等による提出は受け付けいたしません。
- 9) 座長の先生はセッション開始の10分前までに会場にお入りいただき、次座長席にて待機をお願いいたします。
- 10) ランチョンセミナーではお弁当を用意いたします。
- 11) 世話人会は第2会場「8階 会議室803」にて行います。
※開始時間にご注意ください。

日本医学放射線学会 13:10~13:40

日本核医学会 13:40~14:10

PCプレゼンテーションの要領

- 1) 会場にご用意するPCのOSはWindows11です。
ソフトウェアは、Microsoft PowerPoint 2024をご用意いたします。
Macはご用意しておりません。
画面解像度は1920×1080になります。
- 2) ご発表のプレゼンテーションファイルはUSBフラッシュメモリーにてお持ちください。
Macで作成されたデータは、ご自身のMacをお持ち込みください。
- 3) 動画がある場合はご自身のPCをお持ち込みください。
お持ち込みPCは、HDMIの出力ができるよう、可能なPCまたは変換アダプターを各自ご用意ください。
ACアダプターは必ずご用意ください。
- 4) フォントは文字化け回避のために下記のフォントを推奨いたします。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英 語：Arial、Arial Black、Century、Century Gothic
- 5) PC受付は、6月27日（土）午前8時30分からとなります。
【場所】 7階 アイーナホール前
ご発表の1時間前（第1セッションは15分前）までに、発表ファイル、またはご自身のPCをPC受付までお持ちください。
お預かりした発表ファイルは本学会以外の目的には使用せず、学会終了後ただちに消去いたします。お預かりしたPCは会場内の映像オペレーターがご返却いたします。
- 6) 映像はプロジェクター1面投影になります。
演台には、確認モニター、キーボード、マウス、レーザーポインターをご準備いたします。
ご発表の際、スライド1枚目が表示された状態にいたしますので、それ以降の進行は、演者自身で操作してください。

第1会場：アイーナホール（7階）

開会の挨拶 8：55～9：00 当番世話人 田中 良一（岩手医科大学）

一般演題 9：00～10：54

演題番号	時 間	セッション	座 長
診断1（1～5）	9：00～9：45	頭頸部	原田太以佑（北海道大学）
診断2（6～11）	10：00～10：54	腹部・骨盤・IVR・その他	影山 咲子（東北大学）

デビューセッション 11：05～11：41

演題番号	時 間	座 長
デビュー1（診断1：D1～4）	11：05～11：41	鹿戸 将史（山形大学）

ランチョンセミナー 12：00～13：00

座長 田中 良一（岩手医科大学医学部 放射線医学講座 教授）

講演1「最新の画像再構成技術を駆使した心臓CTイメージング」
折居 誠（岩手医科大学医学部 放射線医学講座 講師）

講演2「画像検査業務における運用改善の取り組み」
大田 英揮（東北大学病院 メディカルITセンター 教授）

デビューセッション 14：20～15：05

演題番号	時 間	座 長
デビュー2（診断2：D5～9）	14：20～15：05	堀井 陽祐（新潟大学）

イブニングセミナー 15：20～16：20

座長 有賀 久哲（岩手医科大学附属病院 放射線治療科）

講演1「 ^{177}Lu -DOTATATEと ^{177}Lu -PSMA-617のエビデンスと提供体制整備」
神宮 啓一（東北大学病院 放射線治療科）

講演2「PSMA治療導入に向けた診断・治療環境整備の取り組み」
青木 昌彦（弘前大学医学部附属病院 放射線治療科）

開会の挨拶 16：20～16：25 当番世話人 田中 良一（岩手医科大学）

第2会場：会議室803（8階）

一般演題 9：00～9：54

演題番号	時 間	座 長
治療（12～17）	9：00～9：54	川口 英夫（青森県立中央病院）

デビューセッション 10：05～10：59

演題番号	時 間	座 長
デビュー3（治療：D10～13）	10：05～10：41	高木 倫子（秋田大学）
デビュー4（核医学：D14）	10：50～10：59	三浦 弘行（弘前大学）

一般演題 11：00～11：45

演題番号	時 間	座 長
核医学（1～5）	11：00～11：45	三浦 弘行（弘前大学）

世話人会 13：10～14：10

日本医学放射線学会	13：10～13：40
日本核医学会	13：40～14：10

日本医学放射線学会 北日本地方会

*15年以下、表彰対象演題

放射線診断

第1会場（7階 アイーナホール）

診断1 頭頸部

9:00～9:45 座長 原田太以佑（北海道大学）

*1. NPH様MRI所見と過活動膀胱スコアの関連：地域在住高齢者における検討

齋藤佳南¹、三浦友裕¹、工藤珠星¹、笠井星良¹、掛田伸吾¹、畠山真吾²、藤田尚紀²、
渡邊啓太³

¹弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座

²弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座

³京都府立医科大学大学院 放射線診断治療学講座

*2. 硬膜動静脈瘻診断におけるMRAへのASL追加の有用性：経験の異なる読影者間での診断能比較

門間爽汰、今野素子、戸沢智樹、畠山賢仁、村澤映見佳、村田敏樹、菅原大地、
佐藤朋親、森 菜緒子

秋田大学医学部附属病院 放射線科

3. APOE ε4ホモ接合体および女性における加速性海馬萎縮：住民コホートにおける縦断的検討

麦倉俊司

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

*4. 当院での頭部CTにおける放射線技師の生命予後に関わる緊急性の高い疾患の画像（STAT画像）の判定についての検討

伊勢元晴¹、平賀利匡²、高橋利幸¹、石井芳樹¹、五十嵐 優³、鹿戸将史²

¹日本海総合病院 放射線診断科

²山形大学医学部 放射線医学講座

³日本海総合病院 放射線部

5. 放射線技師のSTAT画像所見報告に関連した、頭部CT読影時の視線についての初期検討

平賀利匡、菅井康大、小笠原理希、板垣拓弥、鷹野公威、松枝 怜、滝澤一穂、
小畑淑恵、鈴木啓介、豊口裕樹、桐井一邦、鹿戸将史
山形大学医学部 放射線医学講座

診断2 腹部・骨盤・IVR・その他

10:00～10:54 座長 影山 咲子（東北大学）

* 6. Sclerosing angiomatoid nodular transformation (SANT) の一例

小松ももこ^{1,2}、向井田瑛佑²、田村明生²、加藤健一²、田中良一²、西谷匡央²、
柳川直樹³、安藤太郎⁴、新田浩幸⁴

¹岩手県立中央病院

²岩手医科大学 放射線医学講座

³岩手医科大学 病理診断学講座

⁴岩手医科大学 外科学講座

* 7. 臨床的に結節性多発動脈炎が疑われた精巣梗塞の1例

片岡賢人¹、後藤 紫¹、山崎元彦¹、石川浩志¹、谷 優佑²、梅津 哉²

¹新潟大学医歯学総合病院 放射線診断科

²新潟大学医歯学総合病院 病理診断科

* 8. 消化管出血を契機に発見された後腹膜原発脱分化脂肪肉腫の胃転移の1例

叶 許緑¹、山崎元彦¹、堀井陽祐¹、大橋瑠子²、石川浩志¹

¹新潟大学医学部 放射線医学教室

²新潟大学医学部 臨床病理学分野

* 9. 生検後に自然縮小したMyxoinflammatory fibroblastic sarcomaの2例

佐藤友規¹、青木英和¹、常陸 真²、吉田新一郎³、倉田洸孝³、渡辺みか⁴、高瀬 圭¹

¹東北大学病院 放射線診断科

²竹田総合病院 放射線科

³東北大学病院 整形外科

⁴東北公済病院 病理診断科

*10. 臨床ニーズから始まる医療機器開発：CTガイド下穿刺支援ナビゲーションシステムの開発経験

針谷綾花¹、山本新之助²、田中 元^{1,2}、岡野華奈^{1,2}、平野仁也^{1,2}、座間味京香^{1,2}、佐々木優大^{1,2}、松本明莉^{1,2}、進藤奏汰^{1,2}、長南宥生^{1,2}、斎藤一創³、外山由貴⁴、石幡浩志⁵、菊地謙次⁶、大田英揮¹、高瀬 圭^{1,4}

¹東北大学病院 放射線診断科

²東北大学医学部 医学科

³独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院

⁴東北大学大学院医学系研究科

⁵東北大学大学院歯学系研究科

⁶東北大学大学院工学系研究科

11. 当施設における放射線検査・読影レポートの情報抽出、データベース化について（オンコール体制変更後の呼び出し状況について）

平賀利匡、菅井康大、小笠原理希、板垣拓弥、鷹野公威、松枝 怜、滝澤一穂、小畑淑恵、鈴木啓介、豊口裕樹、桐井一邦、鹿戸将史
山形大学医学部 放射線医学講座

デビューセッション

11：05～11：41 診断1 座長 鹿戸 将史（山形大学）

*D1. 嚥下困難感で発見された軸椎周囲の神経線維腫の一例

鴻上奈央、二木 希、野口 聡、上石崇史、志村亮祐、田中 七、坂井 互、南部敏和
北海道がんセンター 放射線診断科

*D2. DLR併用TOF-MRAを用いた新たな解剖学的分類による

The Artery of Percheronの頻度

佐々木達郎¹、興石泰樹¹、新宅知博¹、石本優香¹、笠井星良¹、工藤珠星¹、井村瑞葵¹、齋藤佳南¹、渡邊大祐¹、三浦友裕¹、大湯和彦²、野崎 敦³、Zhu Xucheng³、若山哲也³、掛田伸吾¹

¹弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座

²弘前大学医学部附属病院

³GE HealthCare

* D3. 術前コイル塞栓術を実施した若年性血管線維腫の1例

笹島のどか¹、柳垣 聡²、森下陽平³、遠藤 成²、李 麗²、佐藤友美²、佐谷 望²、
松浦智徳²、山田隆之²

¹東北医科薬科大学医学部

²東北医科薬科大学 放射線医学教室

³東北大学病院 放射線診断科

D4. 過活動膀胱における脳内ネットワークの変容：脳MRIを用いた大規模コホート研究

三浦友裕¹、齋藤佳南¹、工藤珠星¹、笠井星良¹、掛田伸吾¹、畠山真吾²、藤田尚紀²、
渡邊啓太³

¹弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座

²弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座

³京都府立医科大学大学院 放射線診断治療学講座

デビューセッション

14：20～15：05 診断2 座長 堀井 陽祐（新潟大学）

* D5. 稀な仙骨腫瘍の2例

鹿野流太¹、柳垣 聡²、遠藤 成²、李 麗²、佐藤友美²、佐谷 望²、松浦智徳²、
山田隆之²

¹東北医科薬科大学病院 卒後研修センター

²東北医科薬科大学 放射線医学教室

* D6. 深層学習による針位置検知を用いたOut-of-plane CTガイド下穿刺シミュレータの開発

田中 元^{1,2}、針谷綾花¹、山本新之助²、佐々木優大^{1,2}、岡野華奈^{1,2}、
座間味京香^{1,2}、平野仁也^{1,2}、松本明莉^{1,2}、清水弘明³、牧 広大³、知花 信¹、
山本一期¹、石幡浩志⁴、菊地謙次⁵、外山由貴³、高瀬 圭^{1,3}

¹東北大学病院 放射線診断科

²東北大学医学部 医学科

³東北大学大学院医学系研究科

⁴東北大学大学院歯学系研究科

⁵東北大学大学院工学系研究科

*** D 7. 腰椎黄色靱帯内血腫の2例**

二木 希、鴻上奈央、野口 聡、上石崇史、志村亮祐、田中 七、坂井 互、南部敏和
北海道がんセンター 放射線診断科

*** D 8. 75,000件の読影依頼文・読影レポート解析による放射線科医が必要とする臨床情報の検討**

濱田 諒、今野素子、戸沢智樹、畠山賢仁、村澤映見佳、村田敏樹、菅原大地、
佐藤朋親、森 菜緒子
秋田大学医学部附属病院 放射線科

*** D 9. CT画像の位相幾何学的解析に基づく肺がん患者の遺伝子変異の識別**

兒玉拓巳^{1, 2}、有村秀孝²、徳田智紀³、田中健太郎⁴、藪内英剛²、
Nadia Fareeda Muhammad Gowdh⁵、Chong Kin Liam⁵、Chee Shee Chai⁶、
Kwan Hoong Ng⁵

¹岩手医科大学医学部 放射線腫瘍学科

²九州大学大学院医学研究院 保健学部門

³九州大学大学院 マス・フォア・イノベーション関係学府

⁴鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

⁵Faculty of Medicine, University of Malaya

⁶Faculty of Medicine and Health Science, University of Malaysia, Sarawak

第2会場（8階 会議室803）

治療

9：00～9：54 座長 川口 英夫（青森県立中央病院）

***12. 膀胱癌に対する根治的放射線治療－当院における後方視的解析－**

田苗太陽、佐藤 啓、市川真由美、萩原靖倫、赤松妃呂子、原田麻由美、山田真義、金子 崇、矢野菜津子、横山優作、小藤昌志
山形大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学分野

13. CTV IR設定が子宮頸癌IGBT治療計画に与える影響についての検討

安田耕一¹、大塚愛実²、森 崇²、高橋周平²、眞田大樹²、五十嵐将太郎²、小川佳寛²、橋本孝之³、青山英史¹
¹北海道大学 放射線治療学教室
²北海道大学病院 放射線治療科
³北海道大学 医理工学グローバルセンター

14. 切除断端陰性の浸潤性乳管癌の若年患者に対する腫瘍床への追加照射は必要なのか？

神宮啓一、王 一墨、高橋紀善
東北大学大学院医学系研究科 放射線腫瘍学分野

15. 粗大な悪性腫瘍に対する単回VMAT Lattice Radiation TherapyのPilot Study

菊池光洋、家子義朗、瀬川昂史、及川博文、兒玉拓巳、有賀久哲
岩手医科大学 放射線腫瘍学科

***16. Catalyst併用Radixact-TBIの初期経験**

矢野菜津子、佐藤 啓、市川真由美、萩原靖倫、赤松妃呂子、原田麻由美、山田真義、金子 崇、田苗太陽、横山優作、小藤昌志
山形大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学分野

17. AI支援放射線治療計画ソフトウェアRatoGuideを用いた治療計画業務時間削減効果の可能性に関する検討

石川陽二郎、伊藤謙吾、山田隆之
東北医科薬科大学 放射線医学

デビューセッション

10:05～10:59 治療 座長 高木 倫子（秋田大学）

* D10. 当院での子宮頸部腺癌/腺扁平上皮癌に対する根治的放射線治療の臨床的検討

青田 凌、北川未央、滝沢涼花、上山凌央、奥田 竜、後町俊夫、土屋高旭、
長谷川智一、染谷正則
札幌医科大学 放射線治療科

* D11. 3D-CRTからIMRTへの移行期における局所進行子宮頸癌CCRT有害事象の検討

蘆田隆晟¹、田口大志¹、西山典明¹、檜垣 朔¹、見延進一郎²、山田竜太郎²、
植原貴史²、青山聖美²、山村満恵²、嶋田知紗²、秋江惟能²、箕輪 郁²、長内秀憲³、
齋藤優一³、齊藤祐輝³
¹北海道がんセンター 放射線治療科
²北海道がんセンター 婦人科
³北海道がんセンター 診療放射線科

D12. 腔内照射室設置型自走式X線透視装置のCBCTを用いて子宮頸癌腔内照射を行った1例

五十嵐将太郎¹、安田耕一²、大塚愛実¹、森 崇¹、高橋周平¹、眞田大樹¹、
小川佳寛¹、橋本孝之³、青山英史²
¹北海道大学病院 放射線治療科
²北海道大学 放射線治療学教室
³北海道大学 医理工学グローバルセンター

* D13. 悪性腫瘍の局所進展に伴う神経・筋機能障害に対して緩和的放射線治療を行った2例

小川耕平^{1,2}、石川陽二郎¹、伊藤謙吾¹、山田隆之¹
¹東北医科薬科大学 放射線医学
²東北大学病院 放射線治療科

日本核医学会 北日本地方会

*15年以下、表彰対象演題

第2会場（8階 会議室803）

デビューセッション

10:50～10:59 核医学 座長 三浦 弘行（弘前大学）

* D14. FDG PETで術前診断が困難であった脾腫瘍の一例

井田沙彩¹、高浪健太郎¹、内海聡太¹、外山由貴¹、中村保宏²、村上圭吾³、高瀬 圭¹

¹東北大学病院 放射線診断科

²東北医科薬科大学医学部 病理学

³東北大学医学系研究科 病態病理学

核医学

11:00～11:45 座長 三浦 弘行（弘前大学）

* 1. 陽子線治療適応判定におけるFAPI-PET偶発集積の解釈

安谷屋 仁¹、村上昌雄²、百瀬敏光³

¹総合南東北病院 放射線科

²南東北がん陽子線治療センター

³南東北創薬・サイクロトロン研究センター

* 2. TauPETにおけるMRIを用いた全脳ヒストグラム解析：CenTauR SUVRとの比較

山國 遼¹、石井士朗¹、樵 勝幸²、石川寛延²、右近直之³、齋藤敬二郎¹、

阿部靖弘¹、安藤達也¹、八巻杏奈¹、遠藤吉樹¹、黒岩大地¹、長谷川 靖¹、

穂積宏俊¹、原 純子¹、関野啓史¹、福島賢慈¹、伊藤 浩¹

¹福島県立医科大学 医学部 放射線医学講座

²福島県立医科大学附属病院 放射線部

³福島県立医科大学 先端臨床研究センター

3. ボディビルダー患者のFDG-PET/CTで偶発的に認められた稀な所見の一例

渡邊史郎^{1,2}、竹中淳規^{1,2}、齋藤翔太³、永井利幸³、工藤與亮^{1,4}

¹北海道大学大学院医学研究院 画像診断学教室

²北海道大学病院 核医学診療科

³北海道大学大学院医学研究院 循環器内科学教室

⁴北海道大学病院 放射線診断科

4. Smart zoom collimatorにおける横隔膜変動の心集積への影響：呼吸変動シミュレータ併用心肝ファントムによる検証

福島賢慈¹、小池笑也²、宮司典明³、矢部重徳²、石井士朗¹、樫 勝幸²、三輪建太³、伊藤 浩¹

¹福島県立医科大学 放射線医学講座

²福島県立医科大学 保健科学部

³福島県立医科大学附属病院 放射線部

5. トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対するSPECTからのAuto Planar法による擬似planar再構成での評価

福島賢慈¹、矢部重徳²、石井士朗¹、齋藤敬二郎¹、原 純子¹、樫 勝幸²、山國 遼¹、関野啓史¹、長谷川靖¹、伊藤浩¹

¹福島県立医科大学 放射線医学講座

²福島県立医科大学附属病院 放射線部

謝 辞

この度の第154回日本医学放射線学会北日本地方会および第99回日本核医学会北日本地方会の開催にあたりましては、下記の各団体、各企業より格別のご支援を賜りました。ここに謹んで御礼申し上げます。

当番世話人 田中 良一

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

共立医科器械株式会社

ゲルベ・ジャパン株式会社

コセキ株式会社

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

株式会社トーセイメディカル

株式会社南部医理科

日本イーライリリー株式会社

日本メジフィジックス株式会社

株式会社根本杏林堂

ノバルティスファーマ株式会社

バイエル薬品株式会社

PSP株式会社

(敬称略、50音順)



DUAL SHOT
GX10
CT CONTRAST DELIVERY SYSTEM

NEW

販売名：造影剤自動注入装置 デュアルショット GX10

認証番号：304AHBZX00011Z00

株式会社 **根本杏林堂**

製造販売元：埼玉県川口市青木2-12-23 / 販売元：東京都文京区本郷2-27-20

※本製品の仕様及び外観は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。



NemotoCare



Canon

患者さんのために、
あなたのために、
そして、
ともに歩むために。

Made For life

Made for Lifeは、キヤノンのメディカル事業のスローガンです。

予防医療というゼロ地点から、早期発見、治療、再発予防までの道程を人々が暮らす「まち」で、医療機関の皆さまと、ともに歩む。

「健康」を取り巻くさまざまな課題と向き合う中で、新しい医療のあり方が育まれ、国内外でいくつもの共創が生まれています。

健やかな未来を目指す人々を一つのビジョンで結び、支える「わかりやすい医療画像」の高みへ。

キヤノンは、日々アップデートされる社会と臨床のニュースタンドアードの中で画像診断装置の真価を追求し続けています。

「いま」が、わかるから「みらい」を目指す力が、生まれる。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000324-01

クオリティーの向上



誠実・医療に奉仕

共立医科器械株式会社

●本社 〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町15-9

TEL (019) 623-1205(代) FAX (019) 653-5301

水沢支店 TEL (0197) 25-6221(代) FAX (0197) 25-6223

八戸支店 TEL (0178) 43-2923(代) FAX (0178) 44-1957

矢巾営業所 TEL (019) 613-6771 FAX (019) 613-6772

さんりく営業所 TEL (0193) 23-0491(代) FAX (0193) 23-0976

弘前営業所 TEL (0172) 55-5081 FAX (0172) 55-5082

青森営業所 TEL (017) 718-3205 FAX (017) 718-3206

秋田営業所 TEL (018) 884-7464 FAX (018) 884-7465

共立サポートセンター ★ISO 9001 認証取得

TEL (019) 652-8988 FAX (019) 623-4161

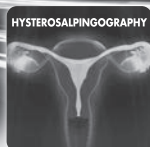
■医療機器 ■医療情報システム ■病・医院諸設備 ■理化学分析機器

<https://www.kmic.co.jp/>

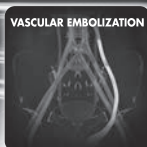
Guerbet | 

Lipiodol®

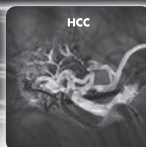
Ethyl ester of iodinated poppy-seed oil fatty acid



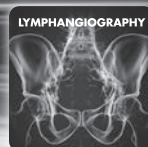
HYSTEOSALPINGOGRAPHY



VASCULAR EMBOLIZATION



HCC



LYMPHANGIOGRAPHY

リンパ系・子宮卵管造影剤 医薬品又は医療機器の調製用剤 薬価基準収載

リピオドール® 480注10mL

Lipiodol® 480 injection 10mL

ヨード化ケシ油脂脂肪酸エチルエステル注射液

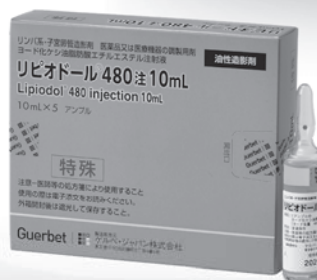
処方箋医薬品^(注) (注) 処方箋医薬品：注意－医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文を参照ください。
リピオドール、Lipiodolはゲルベ・ジャパン株式会社の登録商標です。

製造販売元・文献請求先及びお問合せ先

ゲルベ・ジャパン株式会社

東京都千代田区麹町6丁目4番6号 <https://www.guerbet.com/ja-jp/> フリーダイヤル 0120-693-180



LUF2403D1

2024年3月作成

 **KOSEKI**

これからも、地域とともに

お客様に寄り添い、地域の笑顔のために
様々なソリューション・サービスを提供します

メディカル

医療用画像診断システムや
医療情報ネットワークシステム、
検査機材などの取扱いにより
予防・診断・治療を支援します

メディカル サービス

納入した医療機器の
保守メンテナンスを通じて
地域の人々が安心して医療を
受けられる環境を提供します

ビジネス ソリューション

教育現場向け映像音響・ICTなど
最新のテクノロジーを組み合わせ
提案・販売・構築・保守までを
一貫して対応します

コセキ株式会社

■本社 〒981 0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町2番26号 TEL 022-272-2211 (代表)
■営業所 青森・盛岡・仙台・福島・郡山・首都圏・東京 ■出張所 八戸・いわき
■店舗 コセキカメラ

詳しくは

コセキ

検索



GE HealthCare



Omni Legend

- This is the start of a whole new era of PET/CT -

Omni Legendは、新たに開発したAll-Digital Omniプラットフォームを採用した最初のシステムです。

その核となるデジタル検出器の設計は、高分解能を実現するとともに、NEMA感度を比類なく向上させ、これまでの常識を覆す高感度システムを実現しています。NEMA感度の向上を求めたOmni Legendは、撮像時間の短縮や投与量の低減だけでなく、従来のデジタルPET装置よりも高い病変検出能を発揮します。

SIGNA™ Hero 3.0T

- Built for Anything -

SIGNA™ Heroは、MRの検査に関わる全ての人の検査ニーズに応えるべく、3.0T MRIに求められる高性能をさらに進化させ、高いユーザビリティを追求した最新のMRIです。

画質の向上を追い求めると撮像時間が長くなるというMRの常識を覆す技術、AIR™ Recon DLを標準搭載。環境性能やコストにも配慮する優れたエネルギー効率を実現するために、最重要ハードウェアのマグネットをはじめシステム全体を新設計・開発しました。



製品名: 3.0T 超高速デジタルMRI装置 Optima PET/CT 560, Discovery PET/CT 600
製品名: SIGNA™ Hero 3.0T MRI
製品名: SIGNA™ Hero 3.0T MRI

医療機器製造番号: 221AC20000000000
医療機器製造番号: 221AC20000000000

JBL1000000

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
カスタマーコールセンター 0120-202-021

TO-SAY よりよい医療へ

行動するために、一步前に進むために、意思を伝えよう。
そこからすべてを始めよう。

東証プライム市場上場企業グループ

株式会社トーセイメディカル

WIN A BETTER QUALITY OF LIFE
WIN PARTNERS Group

「医療」を支える 「人」を支える

私たちは、各種の医療商材と
サービスの供給を通して、
医療を支えている方々を
サポートしています。



株式会社
南部医理科 NANBU-IRIKA CO.,LTD



■ 本 社	〒028-3601 岩手県紫波郡矢巾町高田 10-78-1	TEL : 019-697-3264	FAX : 019-697-3519	h-office@nanbu-irika.com
■ 仙台支店	〒981-8003 宮城県仙台市泉区南光台 4-28-15	TEL : 022-797-3337	FAX : 022-718-9880	s-office@nanbu-irika.com
■ 秋田営業所	〒010-0851 秋田県秋田市手形字十七流 181-3	TEL : 018-832-1514	FAX : 018-832-1373	a-office@nanbu-irika.com
■ 弘前営業所	〒036-8086 青森県弘前市大字田園 1-9-6	TEL : 0172-26-3003	FAX : 0172-26-4028	hi-office@nanbu-irika.com
■ 八戸営業所	〒039-1166 青森県八戸市根城 8-10-8	TEL : 0178-45-2254	FAX : 0178-45-2329	ha-office@nanbu-irika.com
■ 山形営業所	〒990-2332 山形県山形市飯田 3-2-9	TEL : 023-625-5446	FAX : 023-625-5447	y-office@nanbu-irika.com
■ 郡山営業所	〒963-8052 福島県郡山市八山田 5-15	TEL : 024-931-5833	FAX : 024-931-5866	k-office@nanbu-irika.com

Lilly



薬価基準収載
ヒト化抗N3pGアミロイドβ^注モノクローナル抗体製剤

ケサソラ[®] 点滴静注液350mg

ドナネマブ(遺伝子組換え)注射液 kisunla, Intravenous Infusion
生物由来製品 創薬 処方適医薬品(注意・医師等の処方箋により使用すること)
最適用推進ガイドライン対象品目 注)N末端第3残基がピログルタミル化されたアミロイドβ

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む
注意事項等情報等については、
電子添文をご参照ください。

製造販売元〈文献請求先及び問い合わせ先〉

日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

Lilly Answers リリーアンサーズ
日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口
medical.lilly.com/jp

(医療関係者向け)
0120-360-605^{※1}

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30^{※2}

※1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。
※2 祝祭日および当社休日を除きます。

PP-DN-JP-0442 2024年12月作成



処方箋医薬品^注
放射性医薬品・骨疾患診断薬

薬価基準収載

クリアボーン[®]注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸
テクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

^注 注意・医師等の処方箋により使用すること

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元
日本メジフィジックス株式会社
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
文献請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

®:登録商標

2025年3月作成



Smart Protocols

DO LESS. CARE MORE.

マルチユース用
CTインジェクタ

24hr
連続複数回検査

medrad[®] Centargo
CT Injection System

操作の時間は最小限に 患者さんへの思いやりは最大限に
造影検査をさまざまな角度から効率化。より多くの時間を患者さんのケアのために。
それは医療を行う上でとても大切なこと、MEDRAD[®] Centargoが目指すこれからの検査のかたち。

Clear Direction. ➤ From Diagnosis to Care.

管理医療機器 / 多相電動式造影剤注入装置
販売名 / Centargo CTインジェクションシステム
認証番号 / 302AABZX00091000

製品に関する詳細情報は、各製品の取扱説明書、添付文書をご参照ください。

お問合せ
サービスコール **0120-60-9040**
24時間サービスコール対応

製造販売業者
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com

製品の詳細は、
二次元コードから
弊社Webサイトで
ご覧いただけます。



医療情報クラウドが、
現場を変える。



AIもセキュリティも、
医療情報クラウドで。



医療情報・画像データ等を安全に管理するクラウド機能からAIによる診断支援まで、クラウド型PACS NOBORIのセキュアなネットワーク機能が、これからの医療を支えます。

認証番号: EVInsite イーヴィ・インサイト 227ALBZX00016000

- 院内サーバ不要
- 安心・安全のデータ保管
- 初期投資ゼロ
- スピーディーな画像参照
- 障害自動検知
- 施設間連携にも対応

PSP株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 1丁目 2番 70号 品川シーズンテラス 25階

www.psp.co.jp